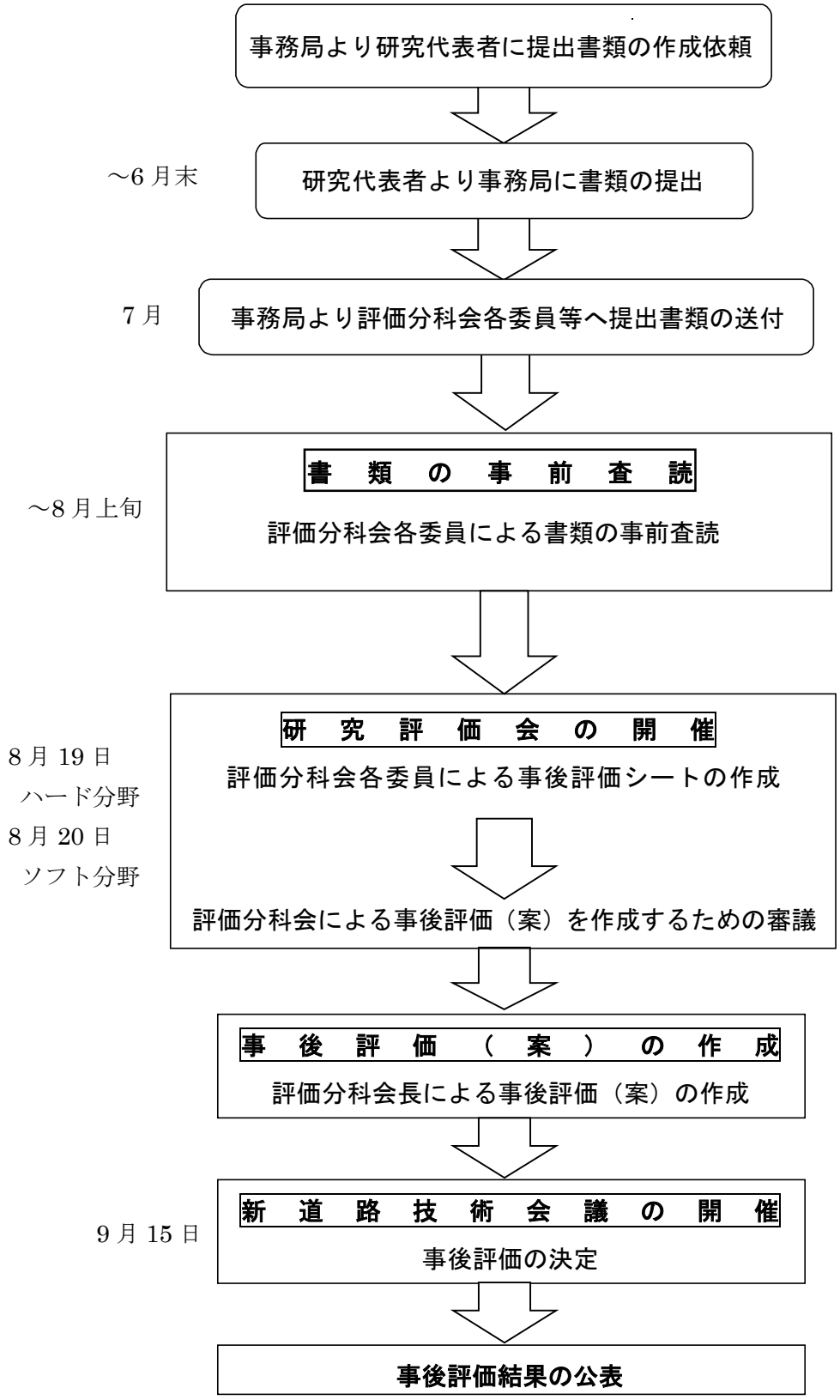
資料１－１

（会議後公表）

令和７年度終了課題　事後評価の流れ・手順



研究成果の公表方法について

１．公表する研究成果関係資料

研究終了報告書／研究概要（日本語・英語）／成果報告レポート


研究終了報告書

【様式１】

道路政策の質の向上に資する技術研究開発

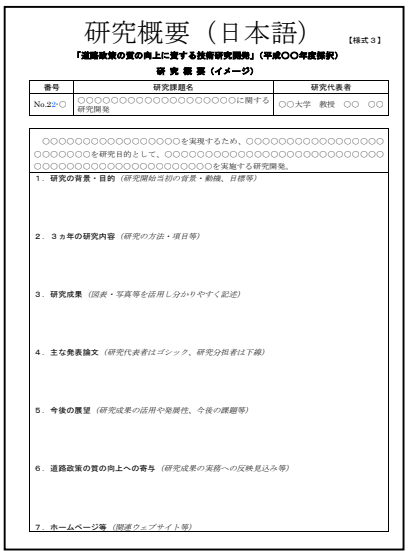
【研究終了報告書】

		氏名	所属	役職
①研究代表者		藤井聡（ふじい さとし）	東京工業大学大学院理工学研究科	教授
②研究テーマ	名称	モビリティマネジメント：社会心理学的アプローチに基づくコミュニケーション型TDMに関する研究開発		
	政策領域	【主領域】1.新たな行政システムの創造 【副領域】10.自然環境・地球環境	公募タイプ	タイプ1(一般型)／タイプ2(若手提案型)

③研究経費（単位：千円）	平成17年度	平成18年度	平成19年度	総合計
当該部分を抽出	800	800	800	2400

④研究者氏名（研究代表者以外の研究者の氏名、所属・役職を記入下さい。なお、記入欄が足りない場合は適宜追加下さい。）

氏名	所属・役職（originally 平成20年3月31日現在）
石田 東生	筑波大学社会工学系 教授
太田 勝敏	東洋大学 国際地域学部 教授
大森 宣暁	東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻 講師
高野 伸栄	北海道大学大学院工学研究科都市環境工学専攻 准教授
高山 純一	金沢大学工学部建設工学科 教授
谷口 綾子	筑波大学社会工学系 講師
谷口 守	岡山大学環境理工学部環境デザイン工学科 教授
土井 勉	神戸国際大学経済学部都市文化経済学科 教授
福田 敦	日本大学理工学社会交通工学科 教授
松村 暢彦	大阪大学大学院工学研究科土木工学専攻 准教授


研究概要（日本語）

【様式３】

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成○○年度採択）

研 究 概 要（イメージ）

番号	研究課題名	研究代表者
No.22-○	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○に関する研究開発	○○大学　教授　○○　○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○を実現するため、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○